

秋田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本文学論	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年		専1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	自製プリント配付 ※『はじめて学ぶ日本文学史』榎本隆司編著（ミネルヴァ書房）						
担当教員	石塚 政吾						
到達目標							
1. 日本文学の諸相を時系列に沿って学習し、各時代・分野ごとの基礎的な知識を習得する。 2. 日本語表現の特質を理解し、時代を超えて伝わる日本人の心について理解を深める。 3. 文化としての言語の働きを理解し、自己の表現活動に役立てる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		日本文学の諸相を各時代・分野ごとに学び、基礎的な知識をまとめ、考察することができる。		日本文学の諸相を各時代・分野ごとに学び、基礎的な知識をまとめることができる。		日本文学の諸相を各時代・分野ごとに学び、基礎的な知識をまとめることができない。	
評価項目2		日本語表現の特質を理解し、時代を超えて伝わる日本人の心について理解し、自分の考えをまとめることができる。		日本語表現の特質を理解し、時代を超えて伝わる日本人の心について説明することができる。		日本語表現の特質を理解できず、時代を超えて伝わる日本人の心について説明することができない。	
評価項目3		文化としての言語の働きを理解し、自己の表現活動に役立てることができる。		文化としての言語の働きを理解し、自己の表現活動に役立てようすることができる。		文化としての言語の働きを理解できず、自己の表現活動に役立てようすることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本文学の諸相について学ぶことにより、日本語表現の特質及び日本文学の史的特徴について深く理解し、自己の表現活動に役立てようとする姿勢を身につける。					
授業の進め方・方法		講義形式並びに演習形式で行う。定期的にレポートの提出を求める。					
注意点		日頃から新聞や雑誌、図書館の本、インターネット等の様々な言語資料によく接しておくこと。合格点は60点である。各回ごとのレポートを40%、到達度試験を60%として評価する。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業のガイダンス		授業の進め方と評価の仕方について説明する。		
		2週	総説・日本文学の諸相		日本文学の全体像、概要について説明できる。		
		3週	上代の文学		上代の文学の特徴について説明できる。		
		4週	中古の文学①		中古の文学の特徴について説明できる。		
		5週	中古の文学②		中古の文学の特徴について説明できる。		
		6週	中世の文学		中世の文学の特徴について説明できる。		
		7週	近世の文学		近世の文学の特徴について説明できる。		
		8週	到達度試験（後期中間）		上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。		
	4thQ	9週	試験の解説と解答		到達度試験の解説と解答		
		10週	近代の文学・明治の文学①		近代の文学及び明治の文学の特徴について説明できる。		
		11週	明治の文学②		明治の文学の特徴について説明できる。		
		12週	大正の文学		大正の文学の特徴について説明できる。		
		13週	昭和の文学①		昭和の文学の特徴について説明できる。		
		14週	昭和の文学②・現代の文学		昭和の文学及び現代の文学の特徴について説明できる。		
		15週	到達度試験（後期末）		上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。		
		16週	試験の解説と解答		到達度試験の解説と解答及び授業アンケート		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0